

今元年6月吉日

## 水いぼの摘除処置終了のお知らせについて

水いぼ=伝染性軟属腫の摘除処置について、今年度よりプールに入る際に感染することを避けるという意味での処置は厚生労働省の指針に従い行わないことに致しました。

水いぼを摘除した場合と、しなかった場合において感染拡大や治療期間に差がみられないとの報告もございます。

時代の流れと共に、痛みや流血を必要以上には避ける事が治療においても大きな課題になっております。

摘除時にはかなりの痛みを伴うことから麻酔のテープを使用することが多いのですが、麻酔テープからの微量な麻酔薬吸収により将来的に麻酔アレルギーを起こしてしまうという可能性も指摘されております。

しかし、感染するという点では不安もあるという声もお聞きいたしますので、当院では水いぼ部を隠すようにラッシュガードの着用やテープ保護を勧めるように致します。

ご理解とご協力のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

院長 順毛直弥

お子さんとその保護者さん、ならびに保育園・幼稚園・学校の先生方へ

## 皮膚の学校感染症について

プールに入ってもいいの？

### 1) 伝染性膿痂疹（とびひ）

かきむしったところの滲出液、水疱内容などで次々にうつります。プールの水ではうつりませんが、触れることで症状を悪化させたり、ほかの人にうつす恐れがありますので、プールや水泳は治るまで禁止して下さい。

### 2) 伝染性軟属腫（みずいぼ）

プールの水ではうつりませんので、プールに入っても構いません。ただし、タオル、浮輪、ビート板などを介してうつることがありますから、これらを共用することはできるだけ避けて下さい。プールの後はシャワーで肌をきれいに洗いましょう。

### 3) 頭虱（あたまじらみ）

アタマジラミが感染しても、治療を始めればプールに入っても構いません。ただし、タオル、ヘアブラシ、水泳帽などの貸し借りはやめましょう。

### 4) 疥癬（かいせん）

肌と肌の接触でうつります。ごくまれに衣類、寝床、タオルなどを介してうつることがありますが、プールの水ではうつることはありませんので、治療を始めればプールに入っても構いません。ただし、角化型疥癬の場合は、通常の疥癬と比べ非常に感染力が強いので、外出自体を控える必要があります。

平成 27 年 5 月

日本臨床皮膚科医会・日本小児皮膚科学会・日本皮膚科学会

